

■ 活用事例紹介 ■

各回で紹介者が異なりますのでご注意ください。(50音順)

『住人と大家さんとの協力的関係が賃貸事業の安心を生む』

7/3

人が自分らしく生きるための暮らしは、「箱」としての住居だけでは成り立たず、他人との関係を大切にできる仕組みや孤立化を防ぐ支援やネットワークとつながることが必要だと考えます。そしてそれは、大家さんが安心して住まいを提供する環境を生み出します。住人同士で協力し合い大家さんとも協力的な関係で暮らせる賃貸住宅を、NPOがサポートすることで実現している「タウンコレティブ」を事例に、大家さんの安心につながる空き家活用についてお話しします。

狩野 三枝 NPO 法人コレティブハウジング社

『人とまちと不動産が生き・活かされる事業へ』

6/15

7/3

「みかんハウス」「okatteにしおぎ」「コトナハウス」など、まちに開いたコモンスペースを持ち、場づくりを伴う不動産プロジェクトを手がけています。不動産の困りごとは、土地や建築、法律や金融のことだけでなく、家族のことや入居者やご近隣のことなど「人と人の関係性」から起こることも多いです。不動産を活かすことで人と人の関係性を少しずつ紡ぎ直し、風通しよくしていきたいと思っています。今回は杉並区宮前で、ご自宅を「okatteにしおぎ」として改修なさった竹之内さんにもご一緒いただきます。「これから空いてしまう自宅をどうしよう？」とご相談をいただいたのが約5年前。プロジェクトはどう進んできたのか？大家さん、住む人、使う人、まちのひとの関係性はどう変わったのか？を中心に、お話ししたいと思います。

齊藤 志野歩 (株) N9.5 / まち暮らし不動産 代表取締役 竹之内 祥子 okatteにしおぎオーナー

『不動産が“負動産”になる6つの要因』

6/15

活用と処分ができない空家や空き地（負動産）の要因を知り、対策方法や必要な準備をお伝えします。

堀田 直宏 (株) ダントラスト代表取締役 空き家相談士・相続アドバイザー

『リビングを地域へ開放 ～“住み開き”の良さとポイント～』

7/3

1Fに住みながら、または2Fをシェアリビングにして、1Fを「コミュニティカフェ」として地域に開いている民家での活動を紹介します。大家さんも、一定の収益を得ながら地域貢献ができます。地域活動とのウィンウィンの関係についてお話しします。

牧野 史子 NPO 法人介護者サポートネットワークセンター・アラジン

第1回

6/15 土
10:00~
11:45

第2回

7/3 水
14:00~
16:00

杉並区都市整備部住宅課 杉並区居住支援協議会
空家等利活用セミナー

会場

杉並区産業商工会館 (阿佐谷南 3-2-19)
地下1階 第1・第2集会室

参加無料

主催 / お問い合わせ：杉並区都市整備部住宅課 杉並区居住支援協議会事務局 03-5307-0661